

第1回 岡山城西の丸活用検討有識者会議 議事要旨

1 概要

開催日時：令和8年6月30日（火） 13時30分～15時00分

開催場所：岡山市役所3階第三会議室

出席者：（五十音順・敬称略）

氏名	所属・役職等
阿部 宏史	環太平洋大学副学長
石井 清裕	おかやま観光コンベンション協会会長、岡山県観光連盟会長
片山 進平	岡山市表町商店街連盟理事長
小松原 竜司	山陽新聞社論説委員会主幹
塩見 槇子	岡山市連合婦人会会長
杉山 慎策	就実大学名誉教授、岡山県立大学大学院非常勤講師
谷一 尚	林原美術館館長、山陽学園大学特任教授・名誉教授
中塚 朋子	就実大学教授
長澤 健一	日本政策投資銀行岡山事務所長
乗岡 実	就実大学・岡山理科大学非常勤講師、丸亀市教育委員会文化財調査員
樋口 輝久	岡山大学学術研究院准教授
松浦 満	岡山市連合町内会理事
安原 宗一郎	岡山商工会議所副会頭

大森市長（座長）、北川政策局長

事務局：事業政策課

2 開催内容

1 開会

2 市長挨拶

3 自己紹介

4 議事

（1）岡山城西の丸の概況、活用検討までの経緯、歴史の説明

（2）意見交換

- ・西の丸の歴史・価値とは何か、岡山市民にとってどんな場所か
- ・西の丸はこれから、こういった場所になっていくとよいか

5 その他

6 閉会

3 議事次第

議事（１）岡山城西の丸の概況、活用検討までの経緯、歴史の説明について

- ・資料に基づいて説明

議事（２）意見交換

- ・主な意見

- 西手櫓周辺を復元して、藩主隠居の間を復元するのはどうか。西手櫓の公開もできるように。内堀、石山門、大納戸櫓の復元も望みたい。
- 石垣と西手櫓という歴史の現物が残っている見るべき価値がある場所。本丸には月見櫓があるが、西手櫓を見る頻度は少ない。一体的に見てもらう歴史の場を作ることによって両方の価値が高まるが、今はまだ活かしきれていない。
- 内山下小学校は学びの場として思い入れがあり、校舎は残っているので、課題はあるが、どう活用していくのかは大事。
- 熊本城のような復元はコストがかかるので、外部の力を借りて魅力的な場所に作り直すことが望ましい。①櫓に似た低層の高級ホテル、②第二の林原美術館として池田家の宝を見せる、③名産品を提供して憩いの場にするなどを検討してはどうか。
- 熊本には飲食や土産が集まる城彩苑があり、長くいても楽しく、また家族を連れて行きたい、知人に勧めたいと思う。そこでしか買えない、食べられないものがあり、西の丸を中心に回遊してもらえる場所にしてもらいたい。
- カルチャーゾーンの文化施設の集積は上野や金沢と並ぶが、岡山では通過型観光が主。ファジアーノで県外客が増え、アリーナの話もあり、来場者の増大も予想されるので、休憩機能や飲食店・土産店等を整備し、観光客が楽しめ、次の施設に行ってもらえる場所にしてほしい。滞在時間を延ばし、経済効果を生む施設にしてほしい。
- 地元としては、水害時の避難所となる。海拔も高く、広大な建物規模を活かせば帰宅困難者の受け入れも可能。また、近年マンションの建設も多く、現在の小学校が満杯になるので、今ある建物を残し、皆が使えるようにしてもらいたい。
- ハイコーチャレンジ、文学フェスティバル等で人が関わり、交流しているのは素晴らしい活動だった。市民が生き生きと生活することが観光資源、まちの活性化につながっていると思うので、観光客と市民が交流できる場所を目指してもらいたい。防災も大切であり、様々な観点から使用する可能性を考えてほしい。
- 様々な取り組みで中心市街地の形が見えてきた。海外客も増えており、岡山のアピールは非常に重要。姫路の場合、世界遺産の姫路城がまちの中心で全てだが、岡山城は後樂園や様々な資産が融合して岡山のイメージを作っているので、それをさらに発揮できる整備の方向性を考えていくべきでは。
- 西手櫓、小学校といった各時代の変遷を伝える場として、石山公園一帯も含め歴史を継承していけるように。また、観光客・市民両方の視点を持ち、奥まった西の丸に来てもらえる仕掛けを作り、石山地区含むエリア一帯に人を呼び込めるものに。

- 観光客が多く来るわりに賑わいが物足りない。飲食店や土産物屋が集まる施設を作り、岡山のグルメを前面に出したエリアにするのも一案。また、現在、体験型観光が大事でインバウンドは特別な体験にお金を払う。西手櫓での日本刀体験など、経済的にも伝統文化に貢献出来るコンテンツなど考えても良いのでは。
- 庭園、藩主隠居所の復元を行い、西手櫓とともに市民に歴史的価値を知ってもらいたい。また、市民会館跡に避難スペースを確保できないかと思う。
- ガイド等を通じて、意味やストーリーを分かりやすく知ることができるソフト施策の充実を。また、防災機能も大切だ。石山地区と一体となって、場所ごとに機能を考える必要がある。
- 西の丸に飲食店や土産店があっても良いが、適切な数に留めてもらい、歴史が感じられたり、人が集まる集客装置として、また、市民の活用などにも使える場所にしてほしい。表町や一帯への周遊などを後押しできる場所に。
- 防災面にしてもグルメゾーンにしても岡山城本丸内でゾーニング、パーツパーツでの機能の差別化を考えていく必要がある。その上で、全体として根幹となっているのは歴史文化であり、岡山の歴史を知る、城主の生活が分かるといったことを散りばめ、西の丸にどんな施設がいるのか考えていく必要がある。